

にほんごがくしゅうかい 日本語学習会のご案内

にちじ 日時：8月6日（水）
がっ 13:30～15:00
にち すい 19:30～21:00

Would you like to learn
Japanese with us?
Please feel free to come!

ばしよ くらよしじんけんぶんか
場 所：倉吉市人権文化センター

ないよう にちじょうせいかつ ひつよう にほんご まな
内 容：日常生活に必要な日本語を学ぶ



8月 手話教室のご案内



日時：8月 8日（金）10:00～12:00
8月28日（木）10:00～11:00

8月8日（金）は子ども手話教室との交流も行います。
参加者随時受付中です！お気軽にご参加ください！

◎生活の中で困りのことはありませんか？



一人で抱え込まずに相談してみませんか？
お困りのことがあればお気軽にお越しください。
電話対応もいたします。
※ご相談いただいた内容は秘密厳守いたします。
安心してご相談ください。

◎差別落書きや人権侵害に気づいたら！すぐにお知らせください！

差別発言などの人権侵害や差別落書きは許されない行為です。発見された場合は
倉吉市人権政策課または最寄りの人権文化センターまでご連絡ください。

連絡先：倉吉市人権政策課 ☎（0858）22-8130

倉吉市人権文化センター ☎（0858）22-4768

ますな

倉吉市人権文化センターだより

2025年8月1日 発行 No.176 号

発行所：倉吉市人権文化センター

住 所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2

電 話/FAX：0858-22-4768

メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

部落解放研究第53回倉吉市集会が 開催されます！

どなたでも参加できます。ぜひお越しください。



日 時 8月24日（日）午前10時～午後3時

（受付開始 午前9時30分～）

会 場 エースバック未来中心・倉吉交流プラザ

研究主題 共生社会の実現と人権尊重のまちづくりをめざして

～市民一人ひとりがつくる安心社会、人と人とのつながりを認め合い、支え合うことを考える～

講 演 会 演題：「いじめってなんですか？」～いじめに対する大人の認識を考える～

講師：小森 美登里さん（NPO 法人 ジェントル ハート プロジェクト 理事）

分 科 会 午後1時～3時

第1分科会	外国にルーツを持つ人の人権	エースバック未来中心小ホール
第2分科会	子どもの人権	エースバック未来中心セミナールーム3
第3分科会	同和問題	倉吉交流プラザ視聴覚ホール
第4分科会	障がいのある人の人権	倉吉交流プラザ第1研修室
第5分科会	LGBTQの人権	エースバック未来中心セミナールーム1

問合せ：部落解放研究第53回倉吉市集会実行委員会事務局（倉吉市人権政策課内）（0858）22-8130

人権絵本「すなばウォーズ」が発行されました！ ～8月15日は「終戦の日」 平和について考える～

人権絵本は、倉吉市人権絵本作成委員会により、幼児期からの人権意識を育てることを目的に作成されています。倉吉市人権文化センターでは、市民の方々の協力を得ながら、倉吉市人権絵本作成委員会として毎年人権絵本を作成しています。

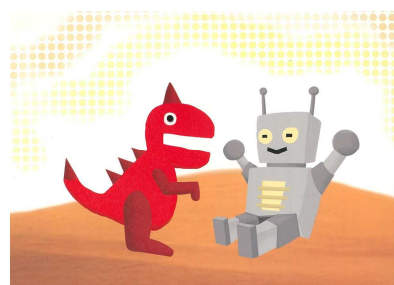
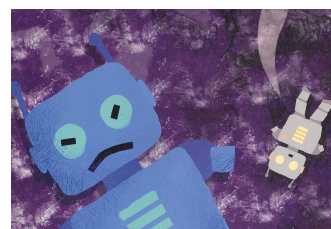
2024（令和6）年度は、23冊目として「戦争と平和」をテーマに、世界で今なお続く戦争により大切な命が危険にさらされている人が大勢いることを、子どもにも大人にも考えて欲しいと願い「すなばウォーズ」を作成しました。

委員会は戦後生まれのメンバーばかり。そこで、実際に戦争を体験した方のお話を聞いてみるのはどうだろうかという話になり、倉吉市在住の入市被爆者である湯本貴恵さんと出会うことができました。

湯本さんは原爆が投下された10日後に鳥取県の医療救護班の看護師として広島に派遣されました。広島では、怪我ややけどをした方の治療にあたられました。

お話の中で、最も印象に残っているのは「命はみんな平等。今、世界で起きている戦争の話は聞くのも観るのも悲しい。命を軽々しく考えている。もっと大切にしてほしい。二度と原爆を使ってほしくない。」という言葉でした。戦争を体験された中で、看護師として多くの人の生死や家族の思いに寄り添い、命と向き合ってきたからこそ、言葉の一つひとつに力強さと優しさがあふれているのだと思います。

「すなばウォーズ」は、身近な生活や遊びの中での「あらそい」「けんか」「衝突」などから戦争について考え、言葉や自分の行動を一人ひとりに考えてもらえるような内容です。「なんでこんなことになってしまったのだろう」という世の中にならないために、あらためて平和の大切さについて、考えてみませんか？



たくさんの方に読んでいただき、ページをめくりながら平和の大切さを感じていただければと願っています。

倉吉市人権文化センターにて過去作の22冊の絵本とともに、貸し出し用として保管していますのでご利用ください。

ご利用の際は、倉吉市人権文化センター（☎ 22-4768）までご連絡をよろしくお願いいたします。

戦後80年 今あらためて考える

～これからも続けていきたい 戦いのない暮らし～



今年は1926（昭和元）年から数えると100年目、そして戦後80年。この間、いろいろな人権にかかわる出来事が起きています。

80年前、日本は戦争の真ただ中でした。広島、長崎への原爆投下。そして、沖縄の民間人を巻き込んだ地上の戦い。1931（昭和6）年の満州事変から始まった戦いは、第二次世界大戦が終わる1945（昭和20）年8月まで、14年もの長い間、多くの尊い命が奪われました。

また、2022（令和4）年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は3年を経過し、双方の死者は12万人を超えています。戦争は、命だけでなく、自由や平等、教育などをはじめ、基本的人権も保障されません。こうして考えると、戦争は「最大の人権侵害」です。

日本は戦後80年を迎え、戦争の苦しみや悲しみを伝える人たちも高齢化が進み、平和の大切さを伝えることが難しくなっています。8月15日を終戦の日と考えるだけでなく、これからも平和が続くために「二度と同じ過ちを繰り返してはいけない」と考える日にしたいものです。

1945年8月6日・8月9日 世界初の原子爆弾 広島・長崎に投下

◆「広島原爆」

1945年8月6日、午前8時15分、人類初の原子爆弾が広島に投下されました。灼熱の火球を作り、600m上空で炸裂し、死者約14万人（その年の12月まで）と推定されます。

◆「長崎原爆」

1945年8月9日、午前11時2分。広島原爆投下から3日後、同じ原子爆弾が投下されました。

すさまじい風が街をおそい、爆心地は現在の平和公園上空で、一瞬のうちに約7万4千人の命が奪われ、長崎市の36%が全焼しました。

放射線の怖さ

原子爆弾の怖いところは、通常の爆弾では発生しない大量の放射線が放出されることです。放射線は体の奥まで入り込み、細胞や造血機能を破壊してしまいます。

1946年ごろからは熱傷の後にできるケロイド、1950年ごろからは白血病や悪性腫瘍の患者が増えてきました。戦後80年経った今でも原爆の後遺症と闘っている人もいます。

核兵器のない社会をめざしましょう。

